

緑区及び都筑区を実証フィールドとして 京セラが自動運転シャトルバスの走行実証を実施します

横浜市は、国内外の様々な企業・機関と連携を図りながら、オープンイノベーションにより付加価値の高い製品・サービスの開発や新たなビジネスの創出、新技術を活用した社会課題解決に取り組んでいます。

その一環として、京セラ株式会社の先進技術研究所が自動運転シャトルバスによる公道での走行実証を令和6年3月11日から開始します。

本走行実証において多様な交通環境での自動運転制御技術とセンシングシステムの有効性を検証するなど、京セラ株式会社及び横浜市は自動運転の活用による地域課題の解決を目指してまいります。

実施概要

期 間	令和6年3月11日(月)～19日(火) 運行時間 9:30～17:30 (30分間に1往復運行) ※天候等により運行中止となる可能性があります。
場 所	京セラ中山事業所～京セラ横浜事業所間 (片道3.4km) 中山事業所：横浜市緑区中山 2-4-1 横浜事業所：横浜市都筑区加賀原 2-1-1
使用車両	小型EVバスをベースとした自動運転バス「trota (トロタ)」
内 容	小型EVバスに京セラ社開発のステレオカメラや周辺検知カメラ、ミリ波レーダーを搭載した、自動運転バスを走行します。加えて、LiDAR (※) や信号検出用カメラ、GNSSアンテナなどのセンサシステムも搭載しています。走行中は常に乗務員が乗車し、必要に応じて手動に切り替え運行します。 今回の実証は技術開発を目的としていますので、一般乗車は実施しておりません。 ※3次元状に光を照射し、センサ周辺の距離からその場所の形状やセンサ位置の把握に活用されるセンサ



▲車両イメージ

◀ 走行ルート

お問合せ先

【実証実験支援に関すること】横浜市経済局産業連携推進課長 岩船 広 Tel : 045-671-2574
【自動運転に関すること】京セラ株式会社 先進技術研究所 東海林剛史 Tel : 045-605-7165